

## 実態調査による下水道必要性の分析

(株)日本水道コンサルタント 正員 菊原良己  
" " 正員 田中育世  
" " 正員 高橋邦夫  
" " 正員 西澤常彦

### 1 はじめに

下水道整備計画策定プロセスに、地域住民の意見を反映させるための住民意識の把握方法の一つとして、住民意識調査は位置付けられる。そしてアンケート調査を行う際には、次の3つのプロセスを経る必要がある。つまり、

- ① アンケート票作成プロセス
- ② アンケート調査実施プロセス
- ③ アンケート調査結果の分析プロセス

である。

①について、著者らは、ISM(Interpretive Structural Modeling)による質問項目間の関連分析を、内部化したアンケート作成プロセスを、既に提示している。<sup>1)</sup>

本論文においては、上記のうち、③をとりあげ、分析方法の提示と、下水道アンケート調査結果への適用例を示すこととする。つまり、アンケート項目中の「下水道必要性」に着目し、これを説明する要因の抽出と、これら要因間の構造化を行う。

以上の論点に従い、以下に本論文の構成を示す。

まず、2.において、分析方針を明示し、これを受けて3では、質問項目間の関連を、クラマーの関連係数を用いて示し、下水道必要性を説明する代表要因の抽出を行う。さらに、下水道必要性項目を外的基準として、その抽出した代表要因との関連を、数量化II類を用いた分析を行い、構造化を行う。

### 2 分析方針

実態調査により、下水道の必要性を検討する場合、必要性を説明する要因の抽出のため、下水道必要性の質問項目をもとに、あやでの質問項目間のクロス集計区とり、これをもとにクラマーの関連係数を求める方法(要因関連分析<sup>2),3)</sup>)を提示し、代表要因を確定する。こらには、確定して要因と、下水道必要性との構造化をはかるため、数量化II類を用いて、分析を行ふ。

同様に、地域住民の下水道必要性意識から、下水道の形態要因(下水道設置時期、位置など)のうち、どの程度まで説明しうるかを検討する。その方法は、説明要因-下水道必要性意識と同様である。

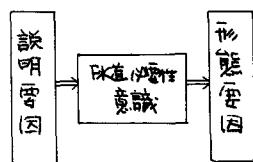


図-1 分析方針

### 3 下水道必要性の分析

#### 3-1 質問項目間の関連分析

下水道の必要性に影響を与えると考えられる要因や下水道の形態要因（一部ではあるが）をも含む33項目（表-1）のそれぞれについてクラマーの関連係数を用いてその関連を分析する。ここに、クラマーの関連係数( $C_r$ )とは、分類で与えられた要因XとYに対する独立性の $\chi^2$ 分布検定によて得られる $\chi^2$ 統計量で、サンプル数及び要因のカテゴリー数によって規準化したものである。

$$C_r = \begin{cases} \chi^2 / (k-1)n & (K \leq L) \\ \chi^2 / (L-1)n & (L \leq K) \end{cases} \quad (1)$$

(n: サンプル数  
 $k, L$ : 要因X, Yのカテゴリー数)

(1)式で表わされる $C_r$ 値は、正負の完全関連のとき1、無関連のとき0となる。

ところで、要因間の関連を考える場合、関連のあるなしを判定する $C_r$ 値の設定が問題となる。

本論文においては、大複雑の結果と比較して、0.1以上を関連ありとみなすこととする。

以上の考え方に基づき、下地域を対象として行った表-1に示す質問項目に対する調査結果をもとに、作成した関連図が図-2である。図-2より、下水道の必要性の説明要因中で、必要性意識と関連が大きいものは、河川状況および河川将来水質、海域状況では、海域の現況水質、自然環境などでは、現在自然環境、地域像に関する水洗化希望意識、さらに排水意識である。

上記に示した項目のうちのいくつかと、水洗化希望意識と非常に関わりが強いと考えられる「し尿処理状況」に関する単純集計結果を、図-3として示す。

単純集計結果によれば、下地域の住民の約65%が下水道が必要としているものの、25%弱の人びと、余り必要はないと考えている。しかし河川将来水質については、現況より悪くなることを許さず、や、水洗化希望意識も強いことがわかる。さらに、河川水質の汚れの一因として、各家庭より排出される污水が、水質悪化の一因と認識している住民が、69.5%をいる。

表-1 質問項目とカテゴリ一

| No | 質問項目     | カテゴリ一       |        |       |       |       |       |       |
|----|----------|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
|    |          | 1           | 2      | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     |
| 1  | 水使用量     | 多く          | 同      | 少     |       |       |       |       |
| 2  | 持続水供給量   | 多く          | 同      | 少     |       |       |       |       |
| 3  | 排水溝竹     | 駅前路         | 三井山    | 海     | 地下    | その他   |       |       |
| 4  | 排水管渠     | 3点          | 活用     |       |       |       |       |       |
| 5  | 自然環境     | 悪           | 同      | 良     |       |       |       |       |
| 6  | 持続自然環境   | 悪           | 同      | 良     |       |       |       |       |
| 7  | 現在水質     | 多く          | 少      | 少     |       |       |       |       |
| 8  | 過去水質     | 多く          | 少      | 同     |       |       |       |       |
| 9  | 排水水量     | 多く          | 少      | 少     |       |       |       |       |
| 10 | 海水       | よくある        | ほとんどない | めずらしく |       |       |       |       |
| 11 | 現況水質     | きれい         | 少し汚い   | とても汚い |       |       |       |       |
| 12 | 過去水質     | きれい         | 同      | とても汚い |       |       |       |       |
| 13 | 将来水質     | きれい         | 今後悪くなる | とても汚い |       |       |       |       |
| 14 | 販売額      | よくいい        | どちらか   | 金利高め  | 行動    |       |       |       |
| 15 | 毎日現況水質   | きれい         | 少      | とても汚い |       |       |       |       |
| 16 | 海水現況水質   | きれい         | 少      | とても汚い |       |       |       |       |
| 17 | 海水性水質    | きれい         | 同      | とても汚い |       |       |       |       |
| 18 | 河川現況水質   | きれい         | 少      | とても汚い | 石垣    | 海岸    |       |       |
| 19 | 持続性水質    | 少           | "      | "     | "     | "     | "     |       |
| 20 | 木季現況水質   | 少           | "      | "     | "     | "     | "     |       |
| 21 | 自然環境優先度  | 少           | "      | "     | "     | "     | "     |       |
| 22 | 「屎尿処理状況」 | 汚い          | 少      | きれい   | 肥料    | よのめ   |       |       |
| 23 | 水洗化希望度   | 希望しない       | 希望する   |       |       |       |       |       |
| 24 | 未だ現況水質   | 便           | きれい    |       |       |       |       |       |
| 25 | 付の特徴     | マスク         | 施設地    | 排水系   | 車会社   | よのめ   | 「屎尿」と |       |
| 26 | 負担       | 多く          | 少      |       |       |       |       |       |
| 27 | 位置       | どこでも、離れたところ | 近いところ  | X(やめ) |       |       |       |       |
| 28 | 空港       | 200m以内      | 500m以上 | 1km以上 |       |       |       |       |
| 29 | 必須竹      | 清水          | 少      | 多     | 創立農園  | 全の風景  |       |       |
| 30 | 環境認識度    | 悪い          | 尚可     | 住宅    | 樹木    | 工業    | 漁業    | X(やめ) |
| 31 | 持続地域度    | 少           | "      | "     | "     | "     | "     | "     |
| 32 | 反映度      | 今まで         | 5年以内   | 10年以内 | 20年以内 | 30年以内 |       |       |
| 33 | 地区       | A           | B      | C     |       |       |       |       |

|                       |                 |                  |                |
|-----------------------|-----------------|------------------|----------------|
| 神代必要<br>(8.9%)        | 必要<br>(45.7)    | 乗り必要なし<br>(25.9) | 不要なし<br>(24.4) |
| (下水道の必要性)             |                 |                  |                |
| 消化槽<br>(6.7)          | くみとり (38.2)     | 肥 料 (42.8)       | その他の<br>(40.4) |
| (生活処理状況)              |                 |                  |                |
| ■ 水洗化を望んでない<br>(35.7) | 水洗化を望む (54.2)   |                  |                |
| (水洗化希望)               |                 |                  |                |
| おひら<br>おつり (37.7)     | よごれている (51.5)   |                  |                |
| (河川現況水質)              |                 |                  |                |
| きれいだった (46.9)         | 今と同じ (35.1)     | 汚れていた (15.1)     |                |
| (河川現況水質)              |                 |                  |                |
| 今のままで (37.7)          | よりきれいに (35.1)   |                  |                |
| (河川将来水質)              |                 |                  |                |
| 最もやせぞ (44.5)          | 河 川 (36.4)      | 地下 (15.6)        | その他 (4.4)      |
| (排水場所)                |                 |                  |                |
| 排水が水質悪化の一因 (68.5)     | 一因とは思わない (30.2) |                  |                |
| (排水意識)                |                 |                  |                |

図-3: 単純集計結果



### ③自然環境状況

現状の自然環境及び自然環境満足度が特に必要性と関連が強い。つまり、現状の自然環境を将来悪くしないという意味で、その一部即ち水質保全に寄与する施策としての下水道への期待が強いと考えられる。このことは、水素満足度が、現況自然環境・自然環境満足度と関連が強いことからも言えよう。

### ④地域像

現況のし尿処理状況が、住民意識の上では、現在の地域像を強く意識させ、将来の地域像を水洗化を行うことにより変化したいという意味において、水洗化の希望が下水道必要性と強い関連にあると考えられる。

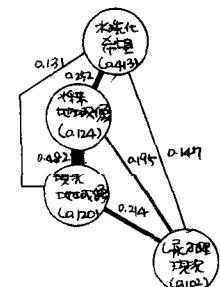


図-7: 地域像項目関連図

さらに排水意識が、下水道必要性と関連が強い。そして、排水場所と排水意識との関連が強い。つまり、地域住民は、日常の汚水の排水場所により、自ら排水場所の一因を形成しているが、それが意識が異なると考えられる。

### 3-3 下水道必要性の意識構造

3-2で抽出した代表要因は、河川・牌界水質・海城・現況水質・自然環境・水洗化希望及び排水意識である。ここで下水道必要性E外的基準として、上記各要因との関連を、数量化理論Ⅳ類正用いて分析を行う。

分析結果では、1軸に関しては、群の判別が可能であるにが、2軸、3軸に関しては、差異が見られない。そこで1軸は、下水道が不要か、必要でないかを判別しているものと考えられる。(図-8)

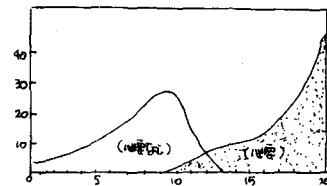


図-8: 必要性判別

さらに、図-9に示すように、下水道必要性と、水洗化希望とか、他の項目に比べてカテゴリースコアが大きく、他の4項目とは、下水道必要性スコアに比べて、それほど差異はない。

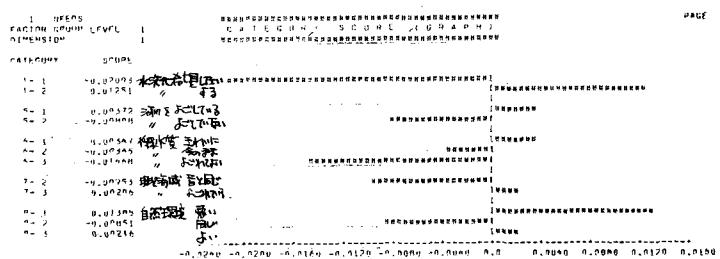


図-9 下水道必要性と要因との関連

さて、先に抽出した5つの要因と下水道必要性との関連図を抽出したものが、図-10である。つまり、F地域における下水道の必要性を説明するものは、地域像と代表する水浄化希望意識であり、あと1つは、排水意識である。特に後者は、地域の河川・海港等の水質に対する意識と考えられる。

### 3-4 下水道必要性と形態要因との関連

ここでは、下水道必要性意識が、下水道形態のどの要因まで説明しうるかを、フラマーの関連係数に着目して、図化したものが、図-11である。

図-11によれば、必要性意識と強く結びついているのは、下水道の設置時期である。つまり、必要と意識している人は、下水道を早く設置すべきで、必要ではないという人は、その後となっている。さらに、下水道現場周辺住民における、下水道受益住民の負担の意識と強く結びついている。

しかし、具体的な処理場位置や、処理場の付加機能（テニスコート・集会所など）とは、関連は弱い。

そのため、位置の整定など具体的な要因については、これに目的を絞ったアンケート調査が必要となる。

### 4 みわりに

実際に得られたアンケート調査結果をもとに、フラマーの関連係数を導入した分析プロセスを提示し、これらF地域での結果を適用した。その結果、下水道必要性を説明する要因として、水浄化希望意識と排出意識が主要因として抽出せられた。つまり、上記2要因から下水道必要性が説明しうることを示した。

一方、下水道必要性から説明しうる下水道形態要因は、設置時期、負担意識という、広い地域の意識のため、位置などの具体的な要因の説明は、しないといえる。そのため、こうして具体的な要因（形態）のみを対象としたアンケート調査も必要である。

本研究に際し、協力頂いた日本水道コンサルタント・システム開発室諸君に軽く謝意を表します。

### [参考文献]

- 1) 増田・森原・二田・西澤 「実態調査による下水道必要性に関する考察」：工学会、第1回衛生工学研究討論会、P.P. 9~14 1981/1
- 2) 森原・小泉・西澤 「アンケート調査をもとにした水便用影響要因関連分析」工学会、第1回衛生工学研究討論会、P.P. 1~6 1981/1
- 3) 宮田三郎、梅野道郎：社会統計学、丸善、1977

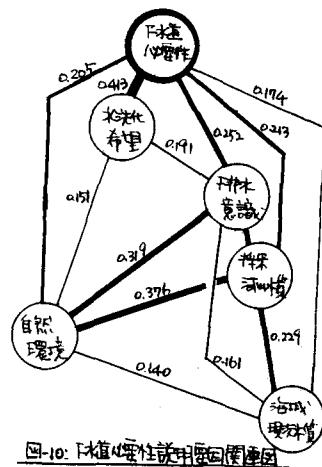


図-10: 下水道必要性説明要因関連図

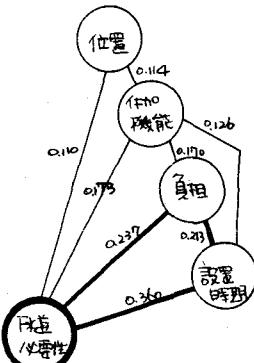


図-11: 下水道必要性と形態要因関連図